

鹿児島学習定着度調査 学力の伸びあり！まだまだ伸びる！

令和5年度 鹿児島県学習定着度調査結果（令和6年2月2日現在）

※1年 正答率

教科	国語	社会	数学	理科	英語
本校平均	61.7	50.6	64.0	62.3	71.6
県との差	-14.2	-3.8	-10.3	-4.0	-5.4
小5県差	-7.9	-15.0	-20.0	-7.2	

※1年 無解答率

国語	社会	数学	理科	英語
7.9	6.9	0.0	1.9	0.9
-4.5	-0.9	+0.3	-1.2	+0.5

※2年 正答率

教科	国語	社会	数学	理科	英語
本校平均	62.1	68.0	62.8	64.0	70.2
県との差	-3.5	+5.7	-6.0	-2.9	-1.2
1年次県差	-4.5	-3.1	+3.5	-1.0	-0.8
昨年比	+1.0	+8.8	-9.5	-1.9	-0.4

※2年 無解答率

国語	社会	数学	理科	英語
5.6	4.0	6.0	2.2	4.6
-2.5	-0.3	-3.9	-1.4	-1.6
-1.9	-1.4	-0.4	-1.2	-0.9
-0.6	+0.9	-3.5	-0.2	-0.5

これまでの取組

＜基盤＞【発達支持的生徒指導の観点の意識】 安心できる 認め合う場の設定

職員研修テーマ「学びの基盤となる集団づくり」

- 授業4則「元気なあいさつ・集中する・私語をしない・眠らない」
- 授業後次時の授業準備、机の整理、棚の整理 ○ 時間を守る意識（授業時間の始まり・終わり）

＜授業＞【特別支援教育の視点の意識】 個の特性に応じる、 職員研修サブテーマ「他者意識の育成」

- 他者意識をもたせた話し方・聞き方・あいさつ、お互いを認め合う場の設定
- 学習課題に応じた効果的な「きょうどうの学び」の場面設定
- 特別支援教育の視点に立ち、様々な感覚を用いる学習活動の設定や見届け・確認

「授業充実の3ポイント」が見える授業 ・ 目標の明確化、山場の工夫、確かめ・見届け

＜習熟＞「分かった」「できるようになった」の喜びへ繰り返しの指導

- 授業の始まりでの復習、ポストテストの実施 ○ ノート・ワーク点検での個別指導
- 定期テスト問題、過去問の正答率の低い問題への対応 ○ 夏・冬休みの課題
- 学力定着、習熟の時間の設定（補充・個別指導） ○ ICT機器（タブレット）機能の活用
- NRT、定期テスト、全国学力・学習状況調査分析から生徒への指導方法改善

成果と課題

＜正答率が高かった問題・取組＞

- ・ 短い問題の正答率が高い。
問題の反復学習の効果があつた。
- ・ 選択式の問題の正答率が上がった。
- ・ 実験、観察等、体験で得た知識が定着している。
- ・ 地域調査の手法についての反復学習の成果があつた。

＜正答率が低かった問題＞

- ・ 長文問題の正答率の低さ。
問題を読み込む力や出題意図の的確な解釈の不足。
- ・ 資料やグラフを読みとる力の不足。
問題の条件や資料を読みとばして答えている傾向。
- ・ 自分の言葉で思いをまとめることの苦手意識。
無回答率も高く、書く力の育成が必要。

今後の取組（一点突破）

2年：問題を読みとる力、読み解く力の育成

- ・ 問題文を鉛筆でなぞりながらチェックを入れ、問題の意図を読みとる。
- ・ 基礎的・基本的知識の定着と、その知識を活用し、自分の考えを書く場面設定

1年：指示の工夫と生徒の活動の見届け

- ・ ひとつの学習活動にひとつの指示と見届け
- ・ 50分の授業で身に付けさせる学習内容の精選